



各施策の基本計画（平成10～19年度）の目標達成状況

1 適切な都市構造の実現

| 指標名 | A 基準値 | B 目標値 | C 達成値 | D 達成状況 |
|----------------------|-------------------|-----------------|-------------------|-----------|
| 都市計画道路補助72号線用地買収率（%） | （平成10年度） 51% | （平成19年度） 88% | （平成19年度） 88% | 目標どおり |
| 区域線調査率（%） | （平成10年度） 58.6% | （平成19年度） 75% | （平成19年度） 71.2% | おおむね目標どおり |

指標名の定義： 都市計画道路補助72号線（期+期）の買収済面積 / 事業面積
 都市計画道路補助72号線（期+期）の調査済面積 / 事業面積

2 地域の特性をいかした参加のまちづくり

| 指標名 | A 基準値 | B 目標値 | C 達成値 | D 達成状況 |
|-----------|-----------------|------------------|------------------|--------|
| 地区計画等の策定数 | （平成10年度） 5地区 | （平成19年度） 12地区 | （平成19年度） 12地区 | 目標どおり |

指標名の定義： 計画期間内における地区計画等のまちづくりルールの策定数

| | |
|--------------------|--|
| <p>これまでの主な取り組み</p> | <p>1 適切な都市構造の実現 整備促進の取組みを進めてきた大江戸線が開通し、副都心線も平成20年6月に開通しました。平成17年3月には新宿区交通バリアフリー基本構想を策定するとともに、重点整備地区の駅周辺でのバリアフリーを進めました。都市計画道路の整備（補助72号線）については事業が長期化していますが、用地買収を進めました。また、社会状況の変化や区民のまちづくり機運の変化等を踏まえて、平成19年度には新たな都市マスタープランを策定しました。</p> <p>2 地域の特性をいかした参加のまちづくり 市街地再開発事業において地元権利者の合意形成に向けた支援を継続して行い、4地区で再開発事業が終了し、3地区で再開発事業に着手、進行中です。地域別市街地整備の推進事業として神楽坂地区で街並み環境整備事業を活用し道路の美装化工事等を行いました。若松町・河田町地区では大規模施設跡地での住宅整備を進めました。また、住民主体のまちづくり機運が高まった地区に対しては、相談員の派遣やまちづくり団体運営助成を活用し、支援を行いました。その結果、12地区で地区計画が策定されました。</p> |
|--------------------|--|

| | |
|-----------|---|
| <p>評価</p> | <p>1 適切な都市構造の実現 鉄道網や道路網、交通結節点をはじめとする都市基盤の整備は多数にわたる関係者間の調整が必要のため長期化する傾向にありますが、概ね計画どおりの進捗をしてきたと評価しています。</p> <p>2 地域の特性をいかした参加のまちづくり 市街地再開発事業や地区計画の策定などについては、区民の主体的なまちづくり活動を支援しながら、個々の地域にふさわしいまちづくりの手法を選択していく必要があります。市街地再開発事業は現在2地区で権利変換計画認可を受け、1地区で都市計画案を都市計画審議会に付議するなど、着実に進捗しています。地域のまちづくり活動の掘り起こしや住民参加によるまちづくりの支援により、12地区で地区計画の策定を行うことができました。こうした事業の展開により、地域の居住環境の改善や防災性の向上が図られつつあります。</p> <p>平成20年度からは新宿区総合計画の「 - 3 災害に備えるまち」「 - 3 人々の活動を支える都市空間を形成するまち」「 - 2 地域の個性を活かした愛着をもてるまち」に各事業を引継ぎ、安心・安全で快適な都市空間の形成に向けて取り組んでいきます。</p> |
|-----------|---|

施策の方向の目標達成状況

1 適切な都市構造の実現 (152ページ)

| 指標名 | | 定義 | | 目標水準 | |
|---|--|---|--|----------|-----------|
| 都市計画道路(補助第72号線、期)の進捗率 | | 補助72号線の事業用地に対する買収の進捗率 | | (平成19年度) | 88%の水準達成 |
| 交通バリアフリー重点整備地区(新宿駅周辺地区)における特定事業計画のまとめ | | 特定経路の設定までで50% 特定事業計画のまとめまでで100%とします。 | | (平成19年度) | 100%の水準達成 |
| 交通バリアフリー重点整備地区(高田馬場駅周辺地区)における特定事業計画のまとめ | | 特定経路の設定までで50% 特定事業計画のまとめまでで100%とします。 | | (平成18年度) | 100%の水準達成 |

施策の達成状況

| | | 単 位 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 備 考 |
|--------|---------------|-----|--------|--------|--------|---|
| 施策成果指標 | 目標値1 | % | 82.51 | 85.80 | 88.00 | 全体対象面積 18,986.22㎡ 目標値 17年度 82.51% 18年度 85.80% 19年度 88.00% |
| | 実績1 | % | 81.50 | 82.85 | 88.12 | |
| | 目標達成率1 = / | % | 98.78 | 96.56 | 100.14 | |
| | 目標値2 | % | 30.00 | 80.00 | 100.00 | 新宿駅周辺地区について特定事業計画を作成したので100%としました。 |
| | 実績2 | % | 30.00 | 50.00 | 100.00 | |
| | 目標達成率2 = / | % | 100.00 | 62.50 | 100.00 | 高田馬場駅周辺地区については既に作成した特定事業計画の進行管理を行いました。 |
| | 目標値3 | % | 80.00 | 100.00 | 100.00 | |
| | 実績3 | % | 80.00 | 100.00 | 100.00 | |
| | 目標達成率3 = / | % | 100.00 | 100.00 | 100.00 | |

2 地域の特性をいかした参加のまちづくり (154ページ)

| 指標名 | | 定義 | | 目標水準 | |
|---------------------|--|--|--|----------|-----------|
| 再開発事業の事業地区数 | | 現在事業中を含め、都市計画決定をする地区数 | | (平成19年度) | 5地区の水準達成 |
| 神楽坂地区におけるまちづくり協定の締結 | | 神楽坂一丁目～五丁目まで25%、本多横丁沿道地区までで50%、六丁目地区までで75%、その他の地区までで100% | | (平成18年度) | 75%の水準達成 |
| 地区計画等の策定数 | | 地区計画等のまちづくりルールの策定数 | | (平成19年度) | 12地区の水準達成 |

施策の達成状況

| | | 単 位 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 備 考 |
|--------|---------------|-----|--------|--------|--------|-----|
| 施策成果指標 | 目標値1 | % | 5.00 | 5.00 | 5.00 | |
| | 実績1 | % | 4.00 | 4.00 | 4.00 | |
| | 目標達成率1 = / | % | 80.00 | 80.00 | 80.00 | |
| | 目標値2 | % | 50.00 | 75.00 | 75.00 | |
| | 実績2 | % | 50.00 | 50.00 | 50.00 | |
| | 目標達成率2 = / | % | 100.00 | 66.67 | 66.67 | |
| | 目標値3 | % | 12.00 | 12.00 | 12.00 | |
| | 実績3 | % | 9.00 | 10.00 | 12.00 | |
| | 目標達成率3 = / | % | 75.00 | 83.33 | 100.00 | |